

# TOTO

## コンパクト手洗器用オートストップ水栓

TL879型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



### 1





## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

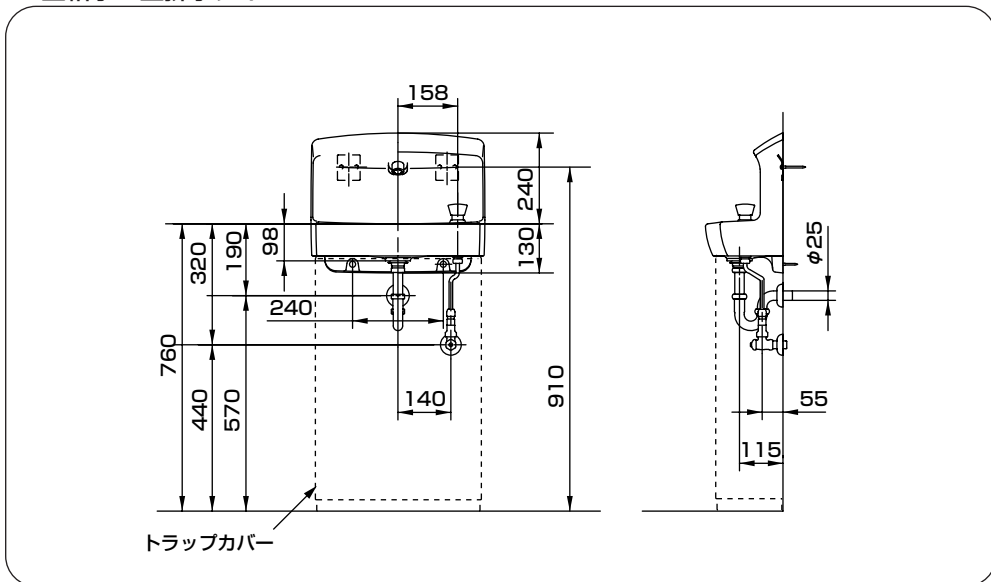
注意	
 <b>禁止</b>	<p>手洗器に硬い物を落とさないでください。 破損して、けがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>手洗器にぶら下がったり乗ったりしないでください。 手洗器が破損してけがをするおそれがあります。</p> 
	<p>手洗器に熱湯を注がないでください。 破損して、けがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

注意	
 <b>禁止</b>	<p>40℃以上の湯はお使いにならないでください。 水栓が破損するおそれがあります。</p> 
 <b>分解禁止</b>	<p>この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。 破損して、けがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 <b>必ず実行</b>	<p>水圧が高い場合は、止水栓を絞り流量を調節してください。 「7 施工後の確認の 2.流量の調節」を参照してください。 流量を調節しないと手洗器から水があふれ、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>  <p>止水栓 少なくなる</p>
	<p>屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。</p> 

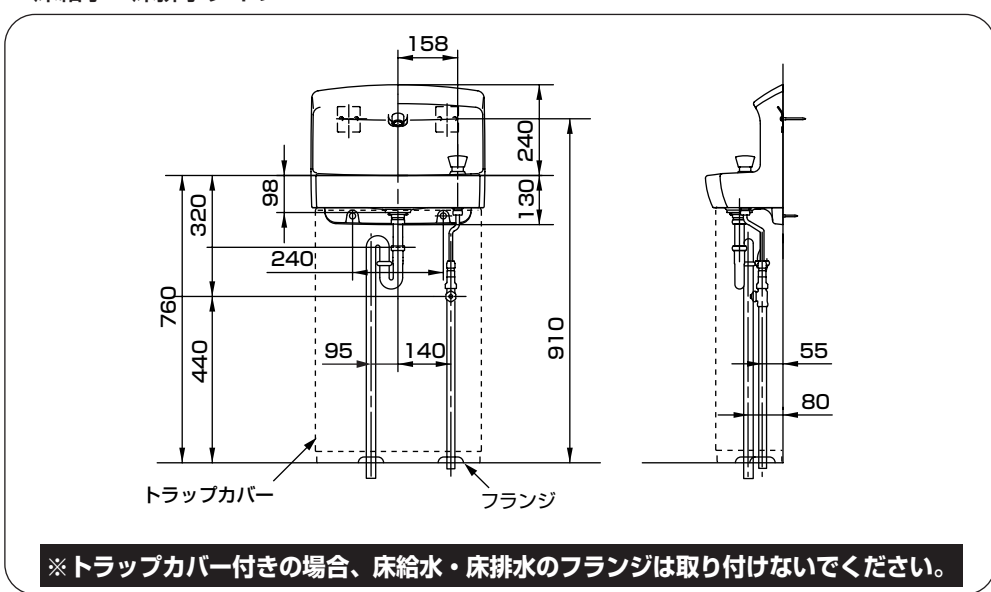


# 5 完成図

## 1. 壁給水・壁排水タイプ



## 2. 床給水・床排水タイプ



※トラップカバー付きの場合、床給水・床排水のフランジは取り付けないでください。

# 6-1 施工手順

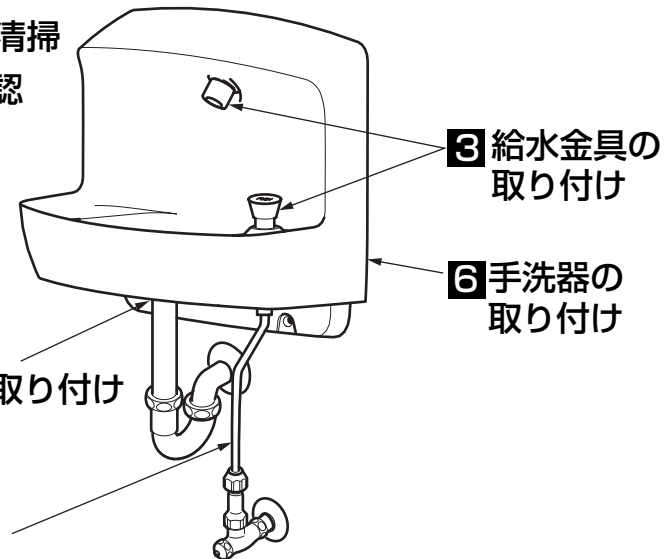
## 1 バックハンガーの取り付け

## 2 給水管内の清掃

## 4 水漏れの確認

## 5 排水金具の取り付け

## 7 給水管の接続

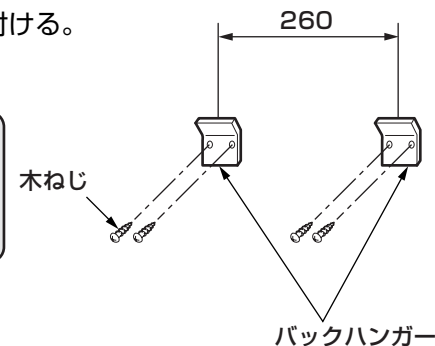


## 1 バックハンガーの取り付け

バックハンガーを所定の位置に取り付ける。

### 注意

- バックハンガーは水平に取り付けてください。
- 取付強度を十分確保してください。



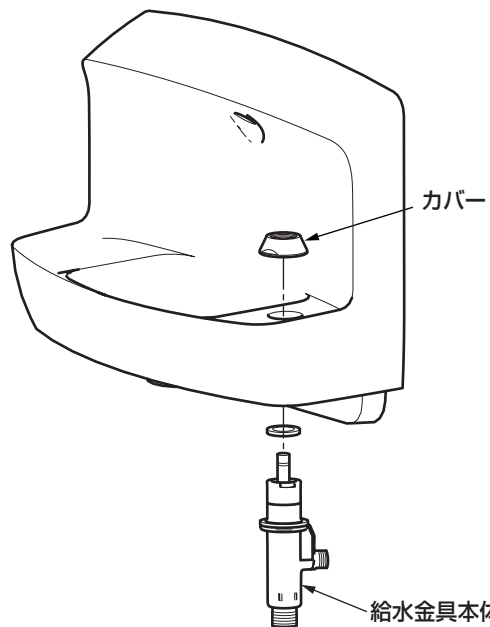
## 2 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

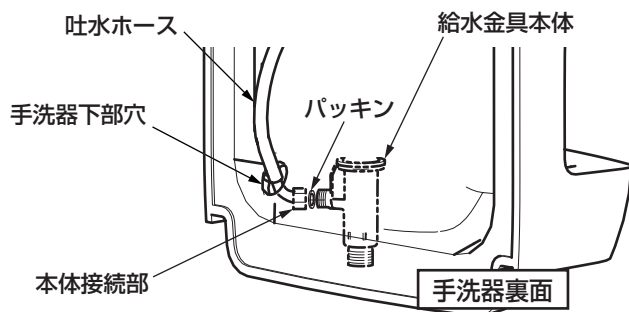
**重要**

## 3-1 給水金具の取り付け

- ① 給水金具本体を手洗器に差し込み、カバーで仮固定する。



- ② 吐水ホースの本体接続部を手洗器下部穴に通し、給水本体にナットで締め付ける。



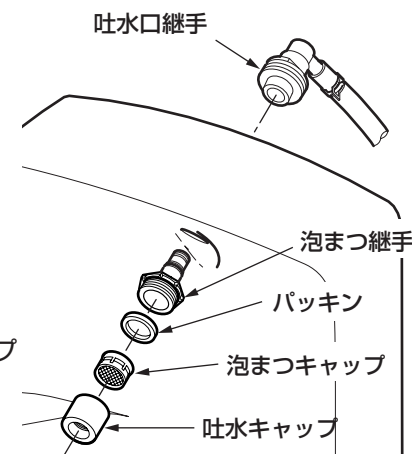
## 注意

本体接続部は、上向きで本体とほぼ同軸になるように取り付けてください。

裏面へつづく

## 3-2 給水金具の取り付け (つづき)

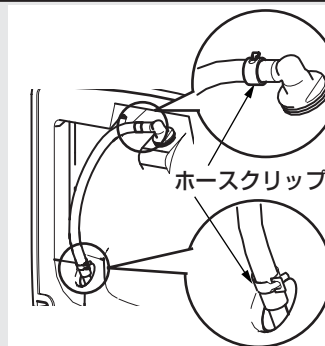
- ③ 手洗器裏面の吐水口取付穴部の汚れを拭き取る。
- ④ 吐水口継手に貼り付いているパッキンのセパレート紙をはぎ、吐水口継手を手洗器に貼り付ける。
- ⑤ 吐水口継手に泡まつ継手をスパナなどで強く締め付ける。
- ⑥ パッキン・泡まつキャップ・吐水キャップを取り付ける。



## 注意

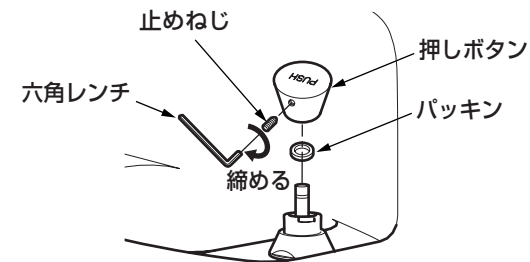
吐水口継手取り付け後、吐水口部と本体接続部のホースクリップの方向を確認してください。

ホースクリップの方向が正しくないと、ホースに折れや破損が生じ、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



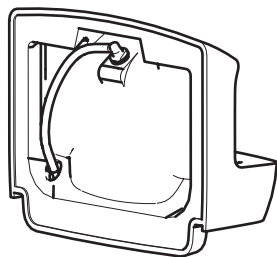
- ⑦ 給水金具本体を本固定する。
- ⑧ 押しボタンを取り付ける。

押しボタンは取り付け後 "PUSH" マークを正面の位置にしてください。



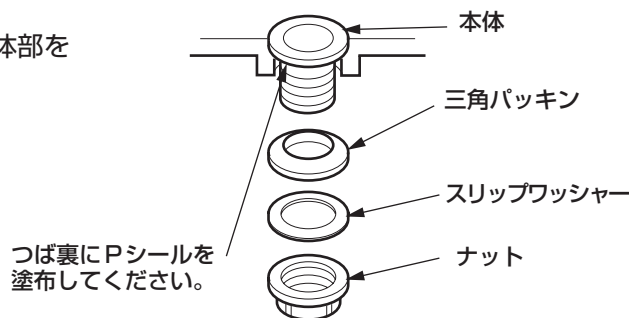
#### 4 水漏れの確認

手洗器を設置する前に耐圧を確認し、手洗器裏側に水漏れがないことを確認する。



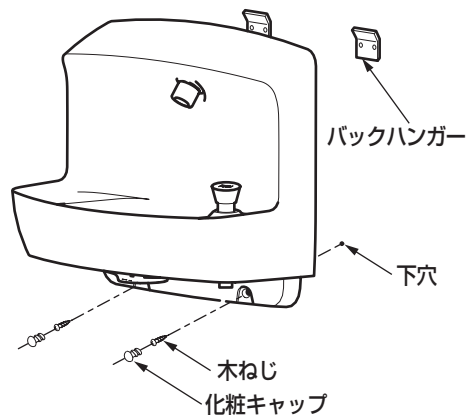
#### 5 排水金具の取り付け

手洗器に排水金具の本体部を取り付ける。



#### 6 手洗器の取り付け

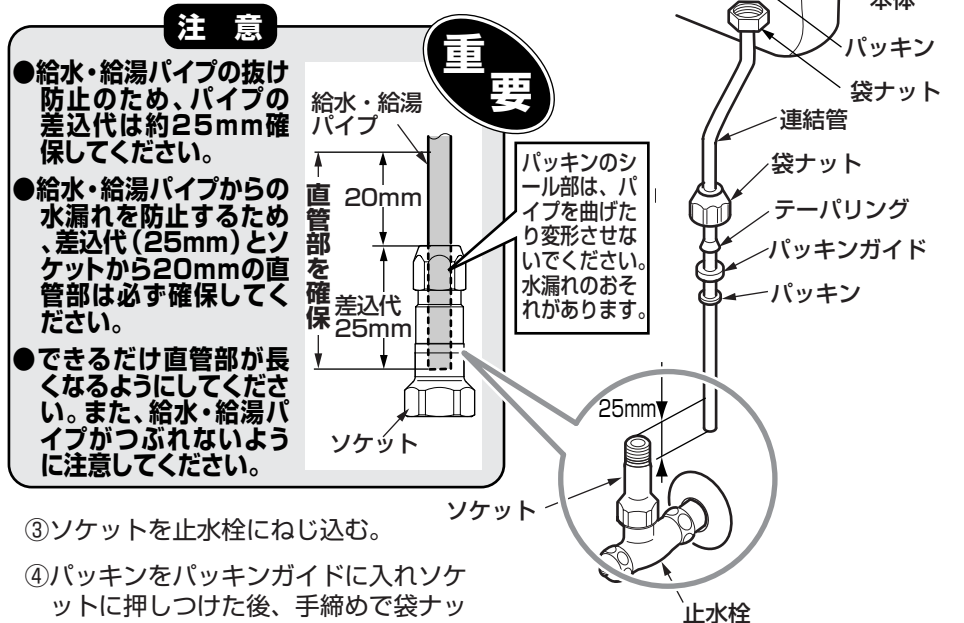
- ①手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押え、手洗器が水平であることを確認する。
- ②下部の取付穴の位置をけがき、下穴を開け、木ねじで固定し、化粧キャップをつける。



※施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

#### 7 給水管の接続

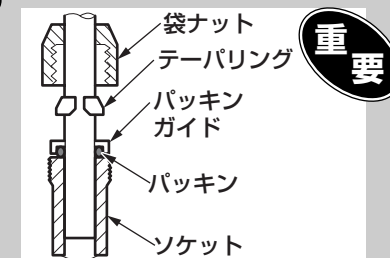
- ①止水栓を取り付ける。
- ②連結管に袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、ソケットを差し込む。



- 注意**
- 給水・給湯パイプの抜け防止のため、パイプの差込代は約25mm確保してください。
  - 給水・給湯パイプからの水漏れを防止するため、差込代(25mm)とソケットから20mmの直管部は必ず確保してください。
  - できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

- ③ソケットを止水栓にねじ込む。
- ④パッキンをパッキンガイドに入れソケットに押しつけた後、手締めで袋ナットを締め付け、更に工具で1回転以上締め付ける。
- ⑤手洗器の本体にパッキンを入れた袋ナットで固定する。

- 注意**
- 給水パイプの抜け防止のため、給水配管は動かないように確実に固定してください。
  - 袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。水漏れのおそれがあります。

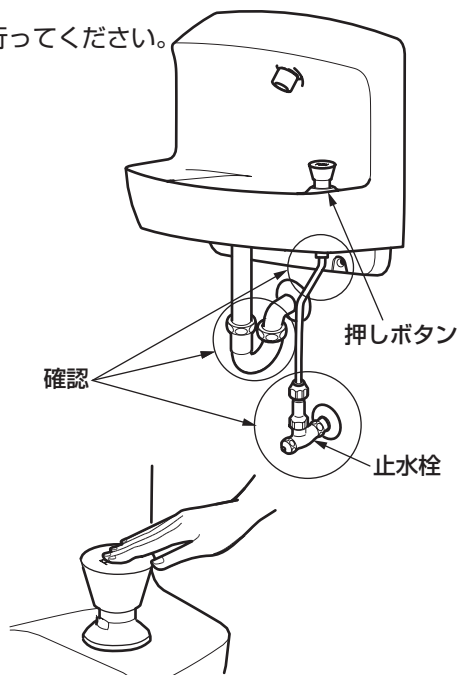


## 1. 取り付け完了後の確認

取り付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

## ＜水漏れの確認＞

- ① 止水栓を開ける。
- ② 給水金具・排水金具・止水栓などの接続部から水漏れがないか確認する。



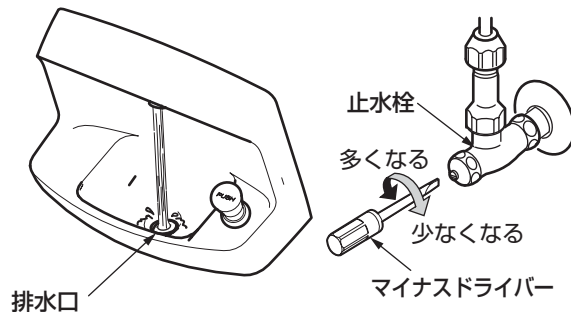
## ＜水を出す・止める＞

- 押しボタンを押すと水が出る。  
※一定時間水が出た後、自動的に止まります。

- 取り付け当初、流量は多め、吐水時間は長めにありますが、数回の水出し操作で正常になります。  
流量の調節・吐水時間の調節は、数回の水出し操作後行ってください。

## 2. 流量の調節

使用時に水飛びしない程度に流量を調節してください。マイナスドライバーなどで止水栓を回して水が排水口に当たる程度が目安です。



## 3. 吐水時間の調節

吐水時間を調節する場合次の要領で行ってください。  
なお、吐水時間の最大は**0.05Mpa時、20秒程度**です。

## 1. 流量を確認する。

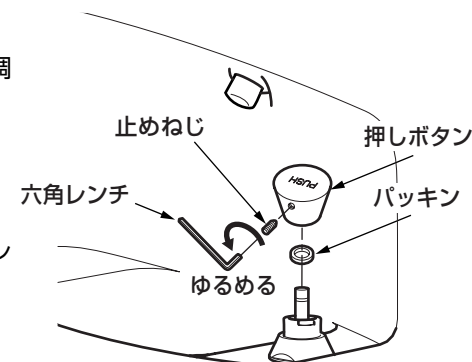
使用時に水が排水口にあたるよう流量が調節されているか確認してください。

## 2. 流量の調節 を参照。

## 2. 押しボタンを取り外す。

押しボタン取付用止めねじを付属の六角レンチでゆるめ押しボタンを取り外します。

詳細手順は「吐水時間調節注意札」を参照ください。



## 3. 吐水時間を調節する。

ドライバーを差し込み、押し棒内部の吐水時間調節ねじを回します。

時計回りに回す……吐水時間は長くなる。  
反時計回りに回す……吐水時間は短くなる。

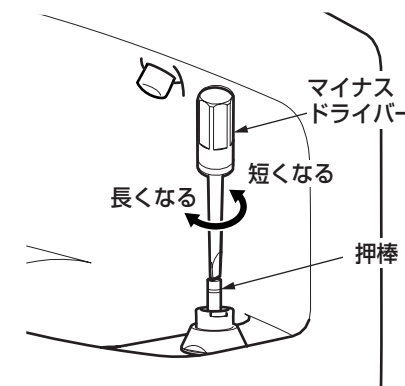
## 4. 吐水時間を確認する。

押しボタンを仮締めし、押しボタンを押して吐水時間を確かめてください。  
吐水時間の目安は5±1秒です。  
吐水時間が長い(または短い)場合は2~3を繰り返してください。

## 5. 押しボタンを取り付ける。

適切な時間に調節し、止めねじをゆるまないよう十分に締め付けてください。

"PUSH"マークを正面の位置にしてください。





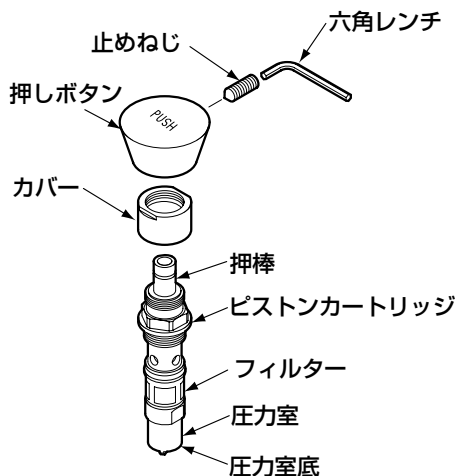
## 4. 取付後の掃除

フィルターが詰まると、水の流れが乱れたり吐水量が少なくなるなど、機能が十分に発揮されませんので、器具の取付け後は必ず掃除してください。

## ●フィルターの掃除

- (1) 止水栓を閉じる。
- (2) 止めねじを付属工具（六角レンチ）で緩めて押しボタンを取り外す。
- (3) カバーをスパナで緩めて取り外す。
- (4) ピストンカートリッジをスパナで緩めて取り出す。
- (5) フィルターの網目につまんだごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。
- (6) 組み立てる（※）

- （※）
- ・組立の際はピストンカートリッジが緩まないよう十分に締め付けてください。
  - ・付属の六角レンチは必ずお客様にお渡しください。



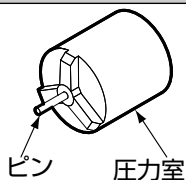
## ⚠ 注意



禁止

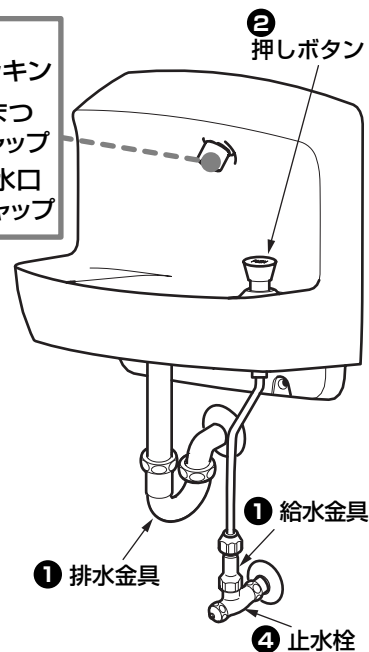
圧力室底に指などが触れた状態で押棒を操作しない

押棒を操作した場合、圧力室底からピンが飛び出ます。けがをするおそれがあります。



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

## ③ 吐水口



## 水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 押しボタン取り付け用ねじはゆるんでいませんか？

➡ 6-2 - ③ 「給水金具の取り付け」参照

## 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水金具・排水金具・給排水管はしっかり接続されていますか？

➡ 6-2 - ③ 「給水金具の取り付け」参照  
➡ 6-3 - ⑤ 「排水金具の取り付け」参照  
➡ 6-3 - ⑦ 「給水管の接続」参照

## 流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-1 ② 流量の調節 参照

**※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。**

再生紙を使用しています。